

授業科目名	授業形態	単位数	担当教員名
子ども学ゼミD	単位認定	1	岡田 強志
【ディプロマポリシーとの関連】 <技能・活動的領域(技能・表現)> 6. 子ども学ゼミや実習指導によって習得した技能を保育・教育の現場に用いることができる。			
【授業のテーマ及び到達目標】 授業のテーマ:「保育の質を高めるリスクマネジメント」 到達目標: 保育現場におけるリスクマネジメントについて説明できる(DP5)。 保育者として保育現場のリスクについて考え、リスクマネジメントに関する自らの考えを整理できる(DP4)。			
【授業の概要】 複雑多様な生活が認められる現代社会において、様々な理由により子どもの保育を必要とする家庭が増えています。 本授業は、子どもの特性や家庭環境を背景とした「リスクマネジメント」を学ぶことを通して、これまでに学んできた保育学の知識、演習・実習で学び得た保育技術を統合する学びと実践力を培います。			
【全体の授業計画・内容】			
1. オリエンテーション 事前学習課題:シラバスをよく読み、子ども学ゼミDの概要を把握しておく【0.5時間】 事後学習課題:子ども学ゼミDの概要およびオリエンテーションで示された本ゼミ方針を理解する【0.5時間】			
2. プレワークショップと自己紹介演習 事前学習課題:自己紹介の準備と本ゼミで深めたい学びを整理しておく【0.5時間】 事後学習課題:自分以外の学生の学びの関心事を整理する【0.5時間】			
3. 保育現場におけるリスクを学ぶための法律 事前学習課題:事前配布する資料を読み込み、学習内容を把握しておく。疑問点・意見を整理しておく【1時間】 事後学習課題:演習授業をふりかえり、自身の学びを整理する【1時間】			
4. 危機管理の基礎知識/重大事故への視点 事前学習課題:事前配布する資料を読み込み、学習内容を把握しておく。疑問点・意見を整理しておく【1時間】 事後学習課題:演習授業をふりかえり、自身の学びを整理する【1時間】			
5. 重大事故を知る 事前学習課題:事前配布する資料を読み込み、学習内容を把握しておく。疑問点・意見を整理しておく【1時間】 事後学習課題:演習授業をふりかえり、自身の学びを整理する【1時間】			
6. 保育現場におけるヒヤリハット 事前学習課題:事前配布する資料を読み込み、学習内容を把握しておく。疑問点・意見を整理しておく【1時間】 事後学習課題:演習授業をふりかえり、自身の学びを整理する【1時間】			
7. 裁判所がもとめる幼稚園・保育所の事故防止① 事前学習課題:事前配布する資料を読み込み、学習内容を把握しておく。疑問点・意見を整理しておく【1時間】 事後学習課題:演習授業をふりかえり、自身の学びを整理する【1時間】			
8. 裁判所がもとめる幼稚園・保育所の事故防止② 事前学習課題:事前配布する資料を読み込み、学習内容を把握しておく。疑問点・意見を整理しておく【1時間】 事後学習課題:演習授業をふりかえり、自身の学びを整理する【1時間】			

9. レポート課題の検討

事前学習課題:これまでの学びをふりかえり、最終提出課題であるレポートテーマを決定し報告準備をする【1時間】

事後学習課題:演習授業をふりかえり、レポートテーマおよび内容を精査する【1時間】

10. 重大事件事例から学ぶ安全な保育①

事前学習課題:事前配布する資料を読み込み、学習内容を把握しておく。疑問点・意見を整理しておく【1時間】

事後学習課題:演習授業をふりかえり、自身の学びを整理する【1時間】

11. 重大事件事例から学ぶ安全な保育②

事前学習課題:事前配布する資料を読み込み、学習内容を把握しておく。疑問点・意見を整理しておく【1時間】

事後学習課題:演習授業をふりかえり、自身の学びを整理する【1時間】

12. 保育のリスクアセスメント

事前学習課題:事前配布する資料を読み込み、学習内容を把握しておく。疑問点・意見を整理しておく【1時間】

事後学習課題:演習授業をふりかえり、自身の学びを整理する【1時間】

13. 危機管理能力を高めるトレーニング

事前学習課題:事前配布する資料を読み込み、学習内容を把握しておく。疑問点・意見を整理しておく【1時間】

事後学習課題:演習授業をふりかえり、自身の学びを整理する【1時間】

14. 児童虐待への気づきと対応

事前学習課題:事前配布する資料を読み込み、学習内容を把握しておく。疑問点・意見を整理しておく【1時間】

事後学習課題:演習授業をふりかえり、自身の学びを整理する【1時間】

15. レポート課題の報告

事前学習課題:これまでの学びを踏まえて、最終提出課題であるレポートの下書きを完成させておく【2時間】

事後学習課題:演習授業をふりかえり、レポートを修正する【2時間】

【学習のあり方】

予習のあり方:これまでの保育実習および演習などの学びから、保育現場のヒヤリハットを整理する。

学習のあり方:授業に対して、確固たる自分の意見を持ち主張する。

復習のあり方:レポート作成に向けて、関心事および知識を整理する。

【成績評価】

授業への参加状況 25%、課題の提出状況 75% 最終提出課題としてレポート(2,000字以上)を課します。

評価の詳細は、第2回目のプレワークショップで示します。

【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】

レポートは、ルーブリックを基に評価した上、コメントを付し返却します。

【テキスト】

猪熊弘子・新保庄三・寺町東子著『重大事故を防ぐ園づくり～研修&実践&トレーニング～』、ひとなる書房

【参考文献】

高橋正人著『裁判所がもとめる幼稚園・保育所の事故防止策』、かもがわ出版

【実務経験の有無】

有り(保育士・社会福祉士)

かつて児童養護施設、乳児院で勤めていた経験を活かして、福祉専門職がどのような観点で子どもの安全を実現するのかを講義する。